



# 花巣蜂

は ち す は な

令和7年12月23日 第9号

新潟市立赤塚中学校

全校生徒150名 男子76名 女子74名

TEL 025-239-2029 FAX 025-239-3313

E-mail [j703akatsuka@city-niigata.ed.jp](mailto:j703akatsuka@city-niigata.ed.jp)

## 『できっこないを やらなくちゃ』



『できっこないを やらなくちゃ』という曲は、ロックバンド サンボマスターさんの名曲として知られています。この曲は、創部3年目にして全米優勝という偉業を成し遂げ、2017年3月公開の映画『チア☆ダン〜女子高生が全米制覇しちゃったホントの話〜』のモデルとなった福井県立福井商業高校チアリーダー部JETSのテーマソングでとして、イベント等で必ず披露される曲だそうです。

創部当時、チアリーダー部顧問の五十嵐裕子先生はチアダンスについて全くの素人でした。その顧問の先生とチアダンス初心者の高校生たちが、創部時の目標として「全米優勝」を掲げるというのは、普通に考えたら「できっこない」ことかもしれません。しかし、五十嵐先生と生徒たちはそれを五段活用して見事に達成したのです。その五段活用というのは、「できっこない」→「できたらいいな」→「できるかも」→「できそうだ」→「できた」です。

### ①「できっこない」を「できたらいいな」に変える



私たちは常識を教えられることで、自分のがんばれる範囲をどんどん狭めてしまいます。そこで一瞬立ち止まって「それって本当に無理なこと？」と自分に聞いてみます。「無理かもしれないけど、できたらいいな」と思えるかもしれません。そんなとき、夢をかなえている人を思い浮かべ、自分の顔を当てはめる創造力のトレーニングをしてみます。「そうだったらうれしいだろうな」と思えば、ファーストステップ完成です。

### ②「できたらいいな」を「できるかも」に変える

次は、想像したことを実際にやってみます。少しずつ一歩一歩行うことで、自分にもできるかもしれないという期待がもてるようになります。

### ③「できるかも」から「できそうだ」に変える

実際にやってみることを重ねると、できることが少しずつ増えていきます。私たちには、非認知能力のうちの「自分を高める力」（例えば、向上心）がもともと備わっていますから、回数を重ねるたびに、もう少しでできそうだという自信がついてきます。

### ④「できそうだ」から「できる」に変える

ここまで辿りつくと、「できる」という確信がありますから、「どうやったらできるか」と自分で考えて動くことができるようになります。やればやるほど、「できる」ようになるというわけです。

五十嵐先生は、このようにしてJETSを「できっこないをやる」集団に育て上げ、創部以来19年間で、9回の全米優勝と10回の全日本チアダンス選手権大会優勝を成し遂げられました。

「エベレスト理論」というものがあります。富士山に登ることを目指す人にはエベレストに登ることはできません。しかし、エベレスト登頂を目指して準備する人にとって富士山に登ることは簡単なことです。「どうせ



挑戦するなら、どうせ時間をかけるなら、どうせ生きるのなら常識にとらわれず思いっきり面白い目標をもってみませんか？」と五十嵐先生はおっしゃっています。自分の可能性を信じて、冬休みや新たに迎える年は、常識以上の高い目標に向かって挑戦してみませんか？

## 令和8年度 生徒会役員・応援団長 任命式を実施しました!!

12月2日（火）の生徒朝会で、『令和8年度 生徒会役員・応援団長 任命式』が行われ、新年度の生徒会役員・応援団長に校長から任命書が手渡されました。

任命書を手にして、生徒会長●●●●さんは、「生徒会長として、赤塚中学校を全校生徒が支え合う、より過ごしやすい学校にしていけるため、意見箱を活用するなどの取組を行います。よろしくお願いします」、生徒会副会長●●●●さんは、「生徒会の新メンバーと力を合わせ、一人一人が主役となる学校をつくっていきます。全力で生徒会活動に取り組みますので、よろしくお願いします」、生徒会副会長●●●●さんは、「立会演説会でお話したように、個性を引き出す生徒会づくりを目指します。よろしくお願いします」、応援団長●●●●さんは、「応援団長として、一人一人のがんばりを認め合うために、先頭に立ってがんばります。これからよろしくお願いします」と力強く、決意の言葉を述べました。

今後、生徒会本部役員や専門委員長に立候補した生徒と新生徒会役員、3年生の現専門委員長、顧問の先生等との面接が行われ、生徒会本部役員や専門委員長が選出されることになります。そして、1月19日（月）に予定されている生徒総会で、新旧役員の引継式と新本部役員・専門委員長の認証式が行われる予定です。生徒会活動の基盤となる組織づくりと引継ぎをしっかりと行い、さらなる生徒会の飛躍と発展を目指します。みなさんの一層のご協力をお願いします！



## 第2回 生徒総会議案書 学級審議 ～学級代表質問について話し合いました～

12月8日（月）の学級活動の時間に、『第2回 生徒総会議案書 学級審議』が行われました。今回の学級審議は、各学級の学級委員が全体の進行を行い、参加している生徒一人一人が必ず1つ以上の質問や意見、要望を出すこととし、活発な議論がなされるような工夫がされていました。そのため、各生徒は学級審議の前に学習者用端末（iPad）にあらかじめ送付されている議案書を確認し、質問や意見、要望をメモしたうえで学級審議に参加するよう、生徒会から呼び掛けが行われました。

その他、工夫されていた点は、提案されている議案について、まず学級委員が要点を読み上げ、その後に生徒一人一人に配付されている『質問・意見・提案用紙』に質問や意見、要望を時間内（議案によって2分～3分）に記入してもらい、回収、寄せられた質問や意見、要望を黒板に板書して、学級で共有するという流れをとったところです。



寄せられた質問や意見、要望には、意見箱を活用した取組についての質問、感染症予防活動やハンカチ・ティッシュを常時身につけることなどに関する要望、「クラス会議」にて学級で話し合った内容についての質問など、生徒会活動全体にかかわるものから、各専門委員会や各学年委員会の活動に関するものまで、今年度の活動を振り返り、次年度の活動を充実させるための前向きな内容でした。

これらの取組は、今年度の風輝祭や合唱祭などの学校行事や各学期の目標立案と中間評価、振り返りで実施してきた「AAR サイクル」にあたります。まずは、みんなで考えてみる（見通し）→実際にやってみる（行動）→ 再び考える（振り返り）のサイクルにつながるといえます。生徒総会を「AAR サイクル活用」の重要な機会ととらえて、充実したものにしていきたいと考えています。





# SSP(スマイル スチューデント プロジェクト)活動について

赤塚中学校生徒会では、新潟お笑い集団 NAMARA 森下 英也 様をお迎えして行った SSP(スマイル スチューデント プロジェクト)集会に引き続き、学年委員会や専門委員会でも SSP 活動の取組を行っています。

SSP 活動には、以下のねらいがあり、これらのねらいを達成するため、学年委員会や専門委員会でも様々な活動に取り組んでいます。その一部を紹介します。

- ①「生徒会活動の取組を通して、生徒間の関わりを深め、いじめ撲滅運動への意識を高める」
- ②「友達の大切さを学び、自らが友達の支えとなる存在になろうとする意識を深める」
- ③「いじめは絶対に許されることではないということを再認識し、よりよいコミュニケーションの取り方を考える」

## <1学年委員会>

「学年目標にある『超傾聴』をするには…」をテーマに、「クラス会議」を行い、話し合いました。KPT法の手法を活用し、これまでの生活を振り返り、継続したいこと(Keep)と問題点(Problem)を出し合い、最終的にこれから取り組みたいこと(Try)をお互いに伝え合いました。

今回の話し合いを受けて1学年委員の生徒を中心に内容を取りまとめ、毎日の帰りの会で傾聴チェックに取り組んでいます。

## <2学年委員会>

クラス全員で一つのことに取り組もうという目的で、「みんなで踊ろう」と題して、クラス全員でダンスを踊り、動画に収録する活動を行いました。

曲は、いくつかの候補曲から目的にピッタリの曲をアンケートで決定し、緑黄色社会の『恥ずかしいか青春は』に決まりました。曲が決まって5分後にはみんなで踊っていた、スピード感と一体感は2年生の持ち味と感じさせてくれました。動画は、編集後にクラスで上映会を行う予定とのことです。

## <情報発信委員会>

司書室の掲示板に「SSP おすすめ本」のポスターを掲示して紹介する活動を行いました。それぞれが、「興味ある!」「ぜひ読んでみたい!!」と思える内容の力作ぞろいのポスターでした。

また、図書室内にも特設ブースを設け、期間中に「SSP おすすめ本」を1冊以上借りた生徒に「赤塚中学校オリジナルしおり」をプレゼントする取組も行われました。



## 冬季球技大会が行われました!!

12月22日(月)に、競技を通してクラスの団結力を高めるとともに、他学年の生徒との親睦を図る目的で、冬季球技大会が赤塚中学校体育館で実施されました。種目は、男女別のバレーボール(7人制)で、1年生から3年生まで全5クラスのトーナメント戦で優勝を争いました。試合形式は3セットマッチで、下級生に試合のサービスを選べる権利を与えるなどのハンデが設定されたほか、サービスの種類によってサービスラインを変えたり、女子の試合は全学年とも1セット目は1バウンドでパスや返球することを認めたりすることで、球技が不得意な生徒も楽しめるように工夫されていました。

結果は、〈男子の部〉優勝3年A組、準優勝3年B組、〈女子の部〉優勝3年A組、準優勝2年A組でした。どの学年・クラスとも、競技や応援に熱心に取り組み、気持ちのよい汗を流すことができました。



## 木山小学校の6年生が中学校の授業を参観しました！

12月11日（木）の午後、木山小学校の6年生が来校し、中学校の授業の様子を参観しました。

中心となって準備や運営にあたったのは、新生徒会役員と1・2学年委員の生徒です。「歓迎の会」のあと、6年生を5つのグループに分け、授業参観の教室へ案内するのも生徒の力で行いました。

授業参観後の「振り返り」では、中学校の授業について、「むずかしそうだったかもしれませんが、意見を出し合い、協力して学び合いますから安心してください」、不安だったことについて、「勉強や人間関係が不安でしたが、クラスの生徒や先輩がやさしく接してくれ、先生方もしっかり話を聞いてくれるので大丈夫です」、風輝祭について、「応援ではまわりを見て行動し、リーダーの指示を聞けるようになることが大切。日頃からその意識をもち、成長して入学してきてください」、合唱祭について、「最後まであきらめずに練習して、本番では素晴らしい発表をすることができました。仲間と過ごす時間を大切にしてください」、最後に、「先輩の授業の雰囲気は、まじめに楽しくやっていたと思います。中学校では、いろいろなことに挑戦してください」と、1・2学年委員の生徒から6年生にメッセージを贈りました。



## 学習作品展示会 心温まるコメントありがとうございます！！

12月1日（月）～5日（金）の5日間、学習作品展示会を保護者懇談会と併せて実施しました。

今回の学習作品展示会にお越しいただいた皆さまから、『赤中生のいいところ』に心温まるコメントをたくさんいただきましたので、紹介させていただきます。

なお、次回は3月6日（金）1・2学年の学習参観の際に『赤中生のいいところ』を伺いたいと考えています。引き続き、ご協力の程、よろしくお願いいたします！

とてもがんばって作った気持ち  
が込められており、どれも  
感動しました。ありがとう♡

とてもユーモアがあり  
楽しく拝見させていただきました。  
みんなとても上手！

みんな個性があって、  
見ていてとても  
楽しかったです。

みんなそれぞれ、いろんな感性をもっ  
ていて、見ていてとても楽しいです。  
すばらしい！

いつも明るく、さわやかにあいさつをしてくる  
ところがとても素敵です。そして、みんな素直で  
やさしい子どもたちだなと思います。



## 1月の主な予定

1/1（木）	元日		1/19（月）	生徒総会 引継式・認証式（6限） フッ素洗口
2（金）	閉庁日		20（火）	1月私立入試（3年給食なし）
7（水）	3年生実力テスト		21（水）	1月私立入試（3年給食なし）
8（木）	授業開始日 ALT 全校朝会 短縮時程		22（木）	ALT 私立合格発表（～23日）
12（月）	成人の日		23（金）	専門委員会
13（火）	短縮時程 生徒朝会 いじめアンケート 3年面接練習① スクールカウンセラー来校日		26（月）	入学説明会（午後） 6限授業
14（水）	短縮時程 3年面接練習②		28（水）	短縮時程 昼休後清掃 三者面談 
15（木）	清掃なし		29（木）	短縮時程 昼休後清掃 三者面談 諸活動停止（～2/5） 新潟第一入試
16（金）	生徒総会リハーサル（体育館使用不可）		30（金）	短縮時程 昼休後清掃 1年命の教室 三者面談 学習強調週間（～2/6） 新潟第一入試